

せんなん教育ニュース



令和6年（2024）年7月泉南市教育委員会

1.（仮称）西信達義務教育学校基本計画

泉南市では、泉南市教育大綱、泉南市教育振興基本計画等に基づき、子どもたちに小中一貫教育を始め、ICT教育、国際教育と外国語教育の推進などの特色ある豊かな教育の実施に努めています。

泉南市教育委員会は、令和5（2023）年3月に「泉南市立小中学校再編計画」を策定し、計画の第I期として、現在の西信達小学校と西信達中学校を統合し、西信達中学校敷地等に（仮称）西信達義務教育学校を新築することとしました。

令和5年7月から9月にかけて地域住民アンケートや西信達地区ワークショップを開催し、その後、泉南市学校施設検討委員会において意見を集約するとともに、“新しい義務教育学校のめざす姿（コンセプト）”や“学校に必要な教室・機能”等の設計に必要な事項をとりまとめ、令和6（2024）年5月に「（仮称）西信達義務教育学校建設に係る基本計画」を策定しました。



地域住民アンケート、
ワークショップなど



（仮称）西信達義務教育学校の基本計画

2. 義務教育学校とは？

■西信達義務教育学校について

令和5年で西信達小学校は150周年、西信達中学校は約80年の歴史を持つ伝統校で、両校はこれまで一小一中で連携を取りながら教育活動を進めてきました。特に、保護者や地域の方々の協力をいただきながら、小中一体として、地域ぐるみで子どもたちの育ちを支援してまいりました。

このような実態を踏まえて、これまでとおり地域の方々と共に子どもたちにとってよりよい学校とするため、小学校から中学校まで9年間の義務教育を一貫して行う義務教育学校の制度を導入することが効果的であると考え、（仮称）西信達義務教育学校とすることとしています。

■義務教育学校とは？

義務教育学校は、小中一貫教育を推進するための制度の一つです。

一人の校長のもと、一つの教職員組織が置かれ、義務教育9年間の学校教育目標を設定し、9年間の系統性を確保した教育課程を編成・実施する学校のことです。

小中連携、小中一貫、小中一貫教育制度の関係

小中連携教育

小・中学校段階の教員が互いに情報交換や交流を行うことを通じて、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指す様々な教育

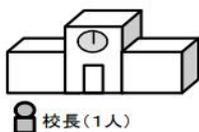
小中一貫教育

小中連携教育のうち、小・中学校段階の教員が目指す子供像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育

①義務教育学校

・新たな学校種（一つの学校）
⇒一人の校長、
一つの教職員組織

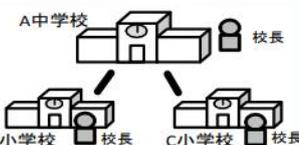
修業年限：9年
（前期課程6年+後期課程3年）



小中一貫型小学校・中学校

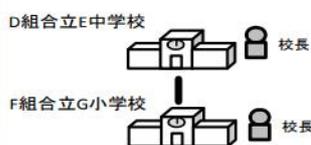
・組織上独立した小学校及び中学校が一貫した教育を施す形態
⇒それぞれの学校に校長、教職員組織

②併設型小学校・中学校 （同一の設置者）



※一貫教育にふさわしい運営体制の整備が要件
例・総合調整を担う校長を定める
・学校運営協議会の合同設置
・校長等を併任

③連携型小学校・中学校 （異なる設置者）



※併設型小・中学校を参考に適切な運営体制を整備すること

※①②③いずれも施設の形態は問わない。

3. 西信達地区住民ワークショップ

(仮称)西信達義務教育学校の建設に向け“新しい義務教育学校の目指す姿(コンセプト)”や“学校に必要な教室・機能”、施設の多機能化等について、西信達地区住民の意見を把握するため、ワークショップ(令和5年8月・9月)を開催し、西信達小中学校の現状、新しい義務教育学校のめざす姿などについて話し合いました。



■西信達小学校と西信達中学校の現状整理

現在の西信達小学校と中学校について、意見交換で出された様々な意見を6つの分類で整理しました。

分類	継続していきたいこと	気がかりなこと
通学環境	・地域住民による通学路の見守り	・通学路が狭い ・学校内に駐車場がない
学習環境	・通級や習熟度学習等の多様な学習環境	・一小一中で結びつきが強い分、高校での環境の変化が大きい ・子どもたちに新たな人間関係が生まれる機会が少ない
学校環境	・小学校のクラス名の独自性(月組、雪組、花組等)	・中学校のグラウンドが狭い
地域連携	・幼・保から中学までの強い結び付き ・西信達フェスタや地引網体験等の地域連携	・コロナ以降、地域住民が学校内に入って交流できなくなったこと
相談できる環境	・スクールソーシャルワーカーの滞在 ・卒園児や卒業生も相談をしに戻ってこられる環境	—
防災・防犯	・地域認定こども園と小中学校の合同避難訓練	・高潮や津波

■意見交換した6つの視点

新しい義務教育学校のめざす姿を実現するために必要と考えられる学校環境や取組について、6つの視点で意見交換しました。

子どもたちの学習のこと

- ・小中学校の授業の連携等で先生同士のつながりも強めてほしい
- ・先生と児童生徒が気軽に質問できる関係を築いてほしい
- ・西信達地区ならではの歴史をしっかりと伝えてほしい
- ・子どもたちがICT等を使い、よりよい学習を行えるように、充実した設備環境を整えてほしい

子どもたち同士の交流のこと

- ・様々な学年の子どもたちが交流できる場所や機会を充実してほしい
- ・隣の学校との交流機会を増やす等、新しい友達を作る機会をつくってほしい
- ・子どもたちの遊びや学習の仕方が多様化しているので、長所を伸ばせるような柔軟な学び方を導入してほしい

学校の施設や機能のこと

- ・低学年用のグラウンドも整備してほしい
- ・図書室、自習室、コミュニティルームのような子どもたちが集まりやすく、自然と自習ができるような場所をつくってほしい
- ・体が不自由な人にも優しいバリアフリーのつくりにしてほしい
- ・電子黒板を導入する等、新しい学習に対応した環境を整えてほしい
- ・運動が苦手な子どもも休み時間を過ごすプレイルームを設けてほしい

学校と地域連携のこと

- ・地域住民と子どもたちが一緒に過ごせる場所がほしい
- ・地域活動(産業・文化)や保護者の仕事にもっと触れ合える機会がほしい
- ・クラブ活動の指導者が足りていないので、外部の指導者がいてくれると良い
- ・多世代が「教える」を介して繋がれるような仕組みや場所がほしい

子どもたちの心のケアのこと

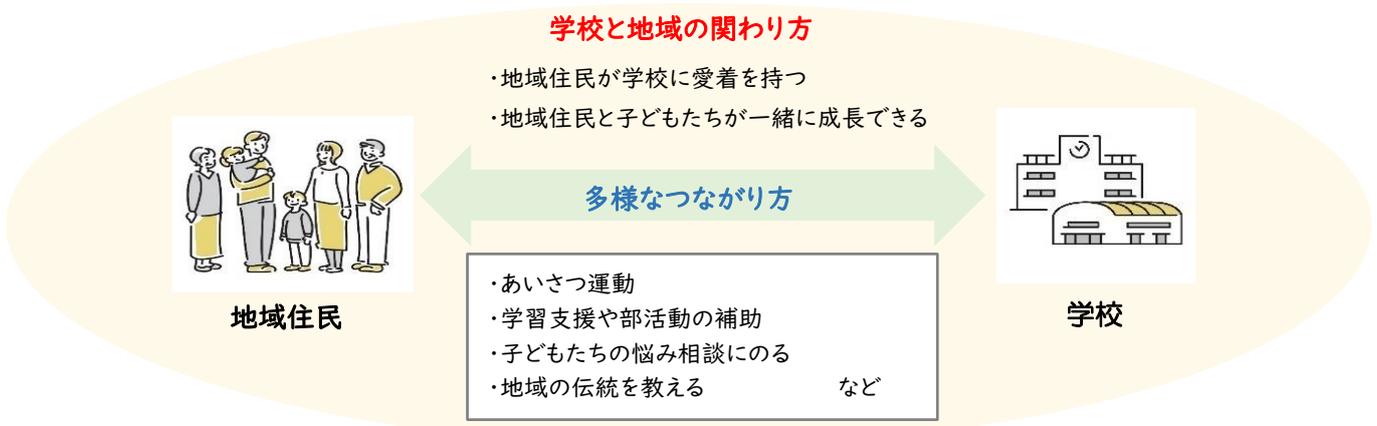
- ・先生やスクールソーシャルワーカー、地域住民等が連携を強めて、子どもたちが気軽に話ができる環境・機会を作ってほしい
- ・個別の相談がしやすいように相談室や自習室等の小部屋を多く設置してほしい
- ・小中学校の結びつきが強い分、高校での環境の変化が大きいので、在校生と卒業生が交流できる機会や場所を作ってほしい
- ・地域活動の場所が、子どもの家庭環境・経済環境をバックアップできるような仕組みだと良い

安全・安心のこと

- ・地域住民の登校指導や見守り運動をより充実させたい
- ・地域住民と合同避難訓練を行う等、防災教育に力を入れてほしい
- ・避難所機能を持たせた多目的体育館を整備してほしい
- ・道が狭く、子どもの飛び出しも多いので、交通安全指導をしっかりとしてほしい

■新しい義務教育学校と地域の関わりについて

学校と地域の関わり方として、「地域住民が学校をより身近に感じられるような関係性を築きたい」、「地域住民と子どもたちがお互いに成長できるような関わり方をしたい」、「それぞれの立場で多様なつながり方ができるようにしたい」といった意見が多く挙がりました。



4. めざす義務教育学校像

「泉南市教育大綱（令和5年1月）」における泉南市の教育の基本方針、「泉南市教育振興基本計画（令和5年3月）」で掲げる「目指す子ども像」並びに「基本理念」及び「西信中学校区めざす大人像（暫定案）」と整合を図り、（仮称）西信達義務教育学校における『めざす義務教育学校像（案）』を次のとおり設定しました。

（仮称）西信達義務教育学校におけるめざす義務教育学校像（案）

個々の価値観や多様性を尊重し、こころとからだがつくましく育つ学校

子どもたちが居場所を感じ、日々を過ごすことができる安全・安心な学校

地域や社会とつながり、地域とともに次代を生き抜いていける学校

■西信中校区めざす大人像（暫定案）

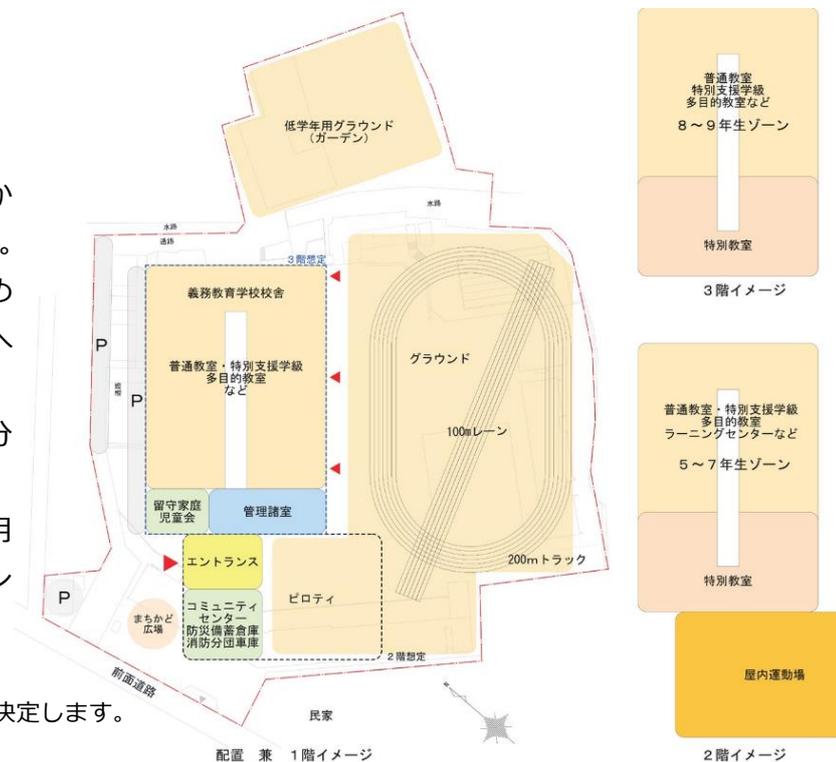
たくましく自ら未来をきり拓く西信っ子～つながる・広げる・世界へ～

5. 施設の配置イメージ

■全体配置

- ・学校が災害時などの避難場所となることから、屋内運動場を前面道路側へ配置します。
- ・周辺の地域住民が立ち寄りやすい施設をめざし、コミュニティセンターを前面道路側へ配置します。
- ・消防分団車庫の車両動線の観点から消防分団車庫を前面道路側へ配置します。
- ・敷地北の旧西信達幼稚園の敷地に低学年用グラウンド（ガーデン）を配置し、ガーデンとグラウンドとのつながりを持たせます。

※施設の配置は、1つのイメージです。
具体的な配置は、民間事業者からの設計提案を受け決定します。



■施設のゾーニング

- ・学校施設が正方形に近い平面計画となることが想定されるため、中庭やトップライトなどを設け、児童生徒の生活空間に必要な採光や換気、排煙を十分に確保できるようにします。
- ・グラウンドは100mトラック及び200mトラックとして利用できる大きさであることと学校施設規模を考慮し、学校施設は3階建てを想定する。1階に1～4年生ゾーン、2～3階に5～9年生ゾーンを配置し、2階以上に特別教室を配置します。

6. 整備スケジュール

予定している整備スケジュールです。

	事業1年目(令和7年度)												事業2年目(令和8年度)												事業3年目(令和9年度)												事業4年目(令和10年度)												事業5年目(令和11年度)											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
実施設計(仮設 解体)	仮設&解体												基本設計												実施設計																																			
基本設計&実施設計	基本設計												実施設計																																															
STEP1 建設工事 仮設校舎													建設工事																																															
仮移転(特別教室棟1、管理特別教室棟、技術教室棟)													仮移転																																															
解体工事 1期(幼稚園、プール、特別教室棟1、管理特別教室棟、技術教室棟)	解体																																																											
STEP2 建設工事 義務教育学校・留守家庭児童会													校舎(留守家庭児童会含む)												外構																																			
移転 2期(義務教育学校)																									移転(小中学校)																																			
解体工事 2期(中学校校舎)																									解体(中学校校舎、仮設校舎)																																			
STEP3 建設工事 複合施設(コミュニティセンター、消防分団車庫、防災活動室(地域活動室)防災備蓄倉庫、屋内運動場)																									複合施設、屋内運動場																																			
移転(消防団詰所)																																					移転																							
解体工事 3期(屋内運動場、特別教室棟2、消防分団)																																					解体												外構											
解体工事 4期(小学校)※別敷地																																																	解体(小学校)											
工事監理																																																												

→義務教育学校開校

7. 概算工事費

整備費は、現時点で想定される規模による概算です。

項目		金額(千円)
解体工事関連	設計費	37,000
	解体費	742,000
	監理費	19,000
	小計	798,000
建設工事関連	調査設計費	276,000
	仮設校舎	234,000
	新設校舎	4,049,000
	屋内運動場	1,115,000
	グラウンド	1,100,000
	留守家庭児童会	84,000
	コミュニティセンター	139,000
	消防分団車庫	61,000
	防災備蓄倉庫	28,000
	監理費	105,000
	小計	7,191,000
	合計	7,989,000

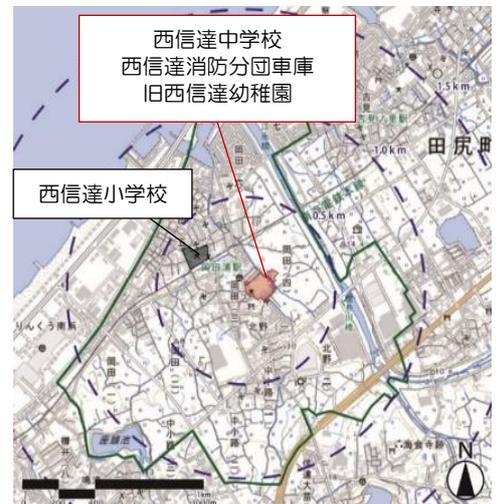
8. 計画敷地の周辺

- ・西信達中学校周辺(旧西信達幼稚園及び西信達消防分団車庫)の敷地を計画敷地とします。
- ・(仮称)西信達義務教育学校校区の範囲は、西信達中学校正門から直線距離約1.3kmです。
- ・計画敷地の直線距離500m圏内には南海本線の岡田浦駅があり、校区内海岸沿いには岡田浦漁港があります。

【凡例】

(仮称)西信達義務教育学校校区

西信達中学校正門を中心とした同心円



発行・編集：泉南市教育委員会事務局 教育部
TEL：072-483-2581 (教育総務課直通)
e-mail：k-soumu@city.sennan.lg.jp

〒590-0505 泉南市信達大苗代 374 番地の 4
FAX：072-483-7306
市ウェブサイト：https://www.city.sennan.lg.jp

泉南市教育委員会ポータルサイトは、泉南市 HP のバナーがこちらの QR コードで⇒

